

生田緑地におけるヤマサナエ *Asiagomphus melaenops* 羽化殻の記録

堀内慈恵*・高梨沙織*・川島逸郎**

A record of exuviae of the gomphid species, *Asiagomphus melaenops* (Selys, 1854)
(Odonata: Anisoptera: Gomphidae) in the Ikuta Ryokuchi Park, Kawasaki City

Yoshie Horiuchi*, Saori Takanashi* and Itsuro Kawashima**

ヤマサナエは河川の源流から上流域にかけて生息し、幼虫は砂泥底を好む種(尾園ほか, 2017)であることから、川崎市域に残された産地はごくわずかと考えられる。このような中、従来から未成熟成虫も得られるなど(川島ほか, 2017a; 2017b)、多摩区の生田緑地においては、現在も確実に発生していると思込まれるサナエトンボ科唯一の種で、小規模な流水のある、北部の谷戸水域を中心に発生していると考えられる(川島ほか, 2016; 2018)。これまで、羽化殻など確実な定着を証拠付ける本種の標本資料は得られていなかった(川島ほか, 2017b)が、この度、生田緑地において羽化直後の個体が観察され、羽化殻も複数採集できたため、ここに報告する。

学名および和名は、尾園ほか(2017)に従った。また、記録標本には、当館の機関略称システム(川崎市青少年科学館(編), 2016)に従って昆虫綱に割り振られた「KMM-IN-」および、トンボ目を示す先頭二桁「03(有効数字は3)-」に基づいた登録番号を付与しており、これらを併記した。証拠となる標本は、すべて川崎市青少年科学館(通称:かわさき宙(そら)と緑の科学館)に保管されている。

トンボ目 Order Odonata

サナエトンボ科 Family Gomphidae

ヤマサナエ *Asiagomphus melaenops* (Selys, 1854)

採集記録: 1♂4♀(羽化殻), 多摩区枳形7丁目(生田緑地・菖蒲園南側細流), 20180504, 堀内採集・川島同定, KMM-IN-03001313–03001317; 1♀(羽化殻), 同前, 20180505, 堀内採集・川島同定, KMM-IN-03001318.

2018年4月29日、当館主催事業「生田緑地観察会」において、菖蒲園南側細流の水際で、一般参加者により本種の羽化直後の個体が発見された。なお、観察会の講師であっ

た雛倉正人氏(特定非営利活動法人かわさき自然調査団 昆虫班)によっても、ヤマサナエであることが確認されている。本種は、羽化期における斉一性がかなり高い(荏部ほか, 2004)ことから、翌週に同じ場所で継続調査を行ったところ、5月4日に1♂4♀、5月5日に1♀の羽化殻を採集した。両日の採集個体では♀が多かったことから、この時点で、すでに羽化期後半に入っていた可能性が高い。

生田緑地の中央広場周縁部では例年、本種の未成熟および成熟成虫がみられる。しかし、生殖活動が恒常的にみられる水域は確認されていない。今回羽化が確認された水域においても、通常は雌雄ともに生殖活動はみられず、主な発生水域からの分散個体による産卵がなされた可能性が大きい。実際に、中央広場周縁部においては、「つつじ山」に至る舗装路上(通称: 旧岡本谷戸の入り口付近)に浸出した水を流水と誤認して産卵を行った♀(KMM-IN-03001250)が得られている(川島ほか, 2017a)。本種は、1世代に2~4年を経るとされている(尾園ほか, 2017)ことから、今回得られた個体は、2016年以前に飛来した個体によって産卵がなされたものと考えられる。

引用文献

- 荏部治紀・川島逸郎・岸一弘・石川一, 2004. トンボ目 Odonata. pp. 67–130, In: 神奈川昆虫談話会(編), 神奈川県昆虫誌 I. 314 pp., 神奈川昆虫談話会, 小田原.
- 川崎市青少年科学館(編), 2016. 川崎市青少年科学館年報, (34): 1–59.
- 川島逸郎・永井一雄・堀内慈恵・高梨沙織, 2016. 生田緑地およびその周辺におけるトンボ目の記録(2015年度). 川崎市青少年科学館紀要, (26): 33–38.
- 川島逸郎・永井一雄・堀内慈恵・高梨沙織, 2017a. 生田緑地およびその周辺におけるトンボ目の記録(2016年度). 川崎市青少

*川崎市青少年科学館(かわさき宙^{そら}と緑の科学館) Kawasaki Municipal Science Museum

**神奈川県横須賀市長沢 Nagasawa, Yokosuka-shi, Kanagawa

- 年科学館紀要, (27): 11-17.
- 川島逸郎・高梨沙織・堀内慈恵, 2018. 生田緑地およびその周辺におけるトンボ目の記録 (2017 年度) -付: 2014~2017 年度のトンボ相の総括. 川崎市青少年科学館紀要, (28): 12-19.
- 川島逸郎・高梨沙織・加賀玲子・永井一雄・堀内慈恵, 2017b. 川崎市青少年科学館所蔵昆虫綱 (蜻蛉 (トンボ) 目・革翅 (ハサミムシ) 目・直翅 (バッタ) 目・竹節虫 (ナナフシ) 目・網翅 (ゴキブリ) 目・等翅 (シロアリ) 目・蟻螂 (カマキリ) 目・広翅 (ヘビトンボ) 目・駱駝虫 (ラクダムシ) 目・脈翅 (アミメカゲロウ) 目・長翅 (シリアゲムシ) 目) 標本目録. 川崎市青少年科学館紀要, (27): 55-86.
- 尾園 暁・川島逸郎・二橋 亮, 2017. ネイチャーガイド 日本のトンボ (第 3 版). 531pp., 文一総合出版, 東京.